



## エシカルラボの目的

私たち岡山理科大学経営学部エシカルラボは、だれもが暮らしやすい岡山のまちづくりや、岡山からの途上国支援（セネガルの雇用創出など）をさらに進めるため、**学生が中心となってエシカル消費を岡山に根付かせるための具体的な提案をすることを目的としています。**



## エシカルラボの活動

エシカルラボは、岡山市「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」の参加事業でもあり、岡山理科大学経営学部の学生が主体的な役割を果たしつつ、ありがとうファーム、jam tun、岡山市ESD推進課、岡山市消費生活センターなどと協働しながら、さまざまな活動をしています。

その活動の1つとして、このラボは、**エシカル傘をレンタル傘として岡山に普及する**、ということを提案しています。

エシカル傘は、jam tunがセネガルから直輸入したアフリカ布（フェアトレード商品）を用いて、ありがとうファームで働く人々が作成したもので、国際協力と障害者支援という要素を含んでいます。さらに、このエシカル傘は、レンタル傘として使用されることで、環境にやさしいという要素も加わった消費（エシカル消費）となります。

人・地域社会・環境にやさしい消費活動を始めてみませんか！

エシカル傘に関するお問い合わせ（購入などのご相談）は、下記のjam tunのe-mailとfacebookまでお願いします！

tagatomoko@gmail.com

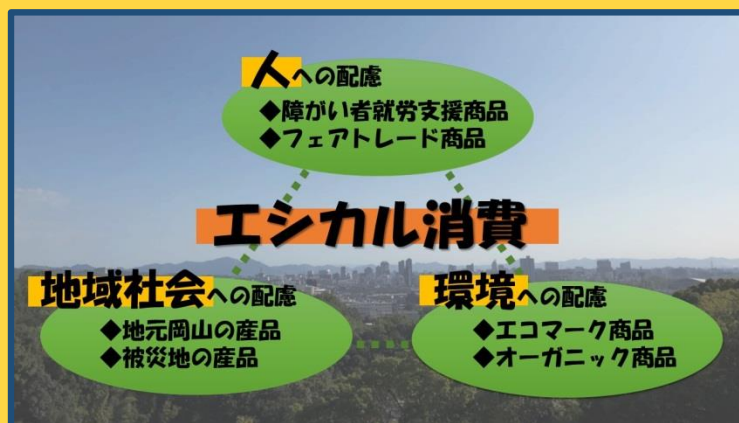
<https://www.facebook.com/jamtun.africa/>



# SDGsとは

国連は、「誰一人として取り残さない（No one will be left behind）」を理念に掲げ、2016年から2030年までの国際目標を「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」として、持続可能な社会を実現するために17の目標を設定しました。

その目標12の「**つくる責任、つかう責任**」の達成に向けた、岡山での取組みの1つとして、私たちの提案するエシカル・レンタル傘は位置づけられます。



## エシカル消費とは

人・地域社会・環境に配慮したモノやサービスを選んで消費することを指します。「エシカル」は「倫理的・道徳的」という意味です。

身近な例ですと、エコマーク商品を選ぶことや地域の食品を買うことなどが挙げられます。私たちは、普段気が付かないうちに、エシカルな消費行動をしていることもあります。

## jam tun

“**アフリカと日本をわくわくで繋ぐ**”をコンセプトに、ごみの環境問題とセネガルでの働き先不足問題への解決などに貢献しています。

たとえば、アフリカの西端にあるセネガルにおいてゴミ問題の原因となっている端切れ布や飲料水の空袋をリサイクルしてつくられた商品の制作・販売を含め、幅広い活動を行っています。



## ありがとうファーム

“**知ることは障がいをなくす**”をキャッチフレーズに活動をしている就労継続支援A型事業所です。

メンバーそれぞれの個性が光る活動を見出しながら社会に還元し、さまざまなチャレンジをしています。

メンバーは、その人らしく活躍できる場をひろげていき、自分の言葉でメッセージを伝えることを心がけており、レンタルアートやイベントの参加・開催、カフェの運営などを行っています。



エシカルラボに関する問い合わせは、

岡山理科大学経営学部イノベーション・ラボセンターまでお願いします！

Tel: 086-256-9807 E-mail: ilab@mgt.ous.ac.jp